

報道機関各位



令和7年6月2日
北九州市環境局
PRESS RELEASE

**地産地消型カーボンリサイクルモデル事業が経済産業省の補助事業
「産官学連携による自律型資源循環システム強靱化促進事業」に採択！**
～本市とUBE三菱セメント㈱との取組み(地産地消型カーボンリサイクルモデル事業)～

北九州市は、市内の企業や大学とともに、産官学の連携組織「北九州循環経済ビジョン推進協議会(以下、「協議会」という)」を設立し、環境産業のさらなる発展を目指しています。

このたび、協議会メンバーであるUBE三菱セメント株式会社、北九州市立大学、本市とで構成する協議会の分科会「廃コンクリートの炭酸塩化利活用」の提案事業が、経済産業省の補助事業「産官学連携による自律型資源循環システム強靱化促進事業」に採択されましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1 補助事業について

- ・名称：経済産業省「産官学連携による自律型資源循環システム強靱化促進事業」
- ・内容：新たな資源循環市場の創出に向けた、脱炭素と経済成長を両立する取組みを早期に実現することを目的に、経済産業省が支援を実施するもの。詳細は以下の URL をご参照ください。(https://www.teitanso.or.jp/skgshigen/)

2 採択(提案)事業について

- ・名称：「建設廃材と CO₂ を用いたカーボンリサイクル資材の社会展開を目指した製造・利用技術の実証事業」
- ・内容：廃コンクリート由来の CO₂ 固定再生骨材を用いた環境配慮型コンクリートの製造・利用技術を開発するもの。
実証の詳細は、添付のUBE三菱セメント㈱の発表資料をご参照ください。

3 北九州循環経済ビジョン推進協議会について

- ・令和4年設立。現在、30団体が参加。産官学の連携により、サーキュラーエコノミー関連の事業化を目指す協議会。
- ・「廃コンクリートの炭酸塩化利活用」は、UBE三菱セメント㈱及び本市環境局が、令和6年3月に協議会の分科会として立ち上げ。現在、北九州市立大学を加えた産官学連携により「廃コンクリートの炭酸塩化」技術のビジネスモデル確立に向けて活動中。

【問合せ先】

<協議会について>

環境局サーキュラーエコノミー推進課
担当：佐藤（課長）、河原（係長）
電話：093-582-2630

<実証について>

UBE三菱セメント株式会社
担当：総務部広報室 松浦、鈴木
電話：03-6275-0333